授業科目名	コンピュータ概論 エ			科目コード	16			
開講クラス	システム	7工学科	コース	_		学 年	1年	
	前田 泰孝							
担当教員	実務経験教員(有・無) 実務経験内容 IT 関連企業勤務							
開講時期	前期・後期・通年・特別講			義・その他	他授業コマ数		64コマ	
1 コマ90分	必 須・ 選 択 ・ 選択必須					数	128時間	
使 用 テキスト1	書名	コンピュー	-夕概論					
	著者	株式会社ウイネット 情報処理教育研究会						
	出版社	株式会社ウイネット						
使 用 テキスト2	書名							
	著者							
	出版社							
参考図書								
授業形態	講義・	演習・	実習	• 実験 •	その他	()	
/ 坪光の日的、日挿入								

<授業の目的・目標>

コンピュータに関する基礎を学び、基本情報技術者試験レベルの知識を身につける。

<授業の概要・授業方針>

テキストで基礎知識を学び、基本情報技術者試験や他検定の過去問題を解きながら、理解を深める。

<成績基準・評価基準>

期末試験の成績と、出席率・授業態度を考慮して評価する。

〈使用問題集・注意事項〉

特になし

<授業時間外に必要な学修内容、関連科目、他>

特になし

授業	———— 科目名	コンピュータ概論 I	
		授業内容	備考
1	第1章	コンピュータと情報	
2	第1章	コンピュータ内部での情報表現	
3	第1章	大きな数と小さな数を表す補助単位	
4	第1章	各種装置の分類	
5	第1章	プログラムの作成から実行まで	
6	第1章	ネットワークの基礎知識	
7	第1章	ファイルとデータベースの基礎知識	
8	第1章	コンピュータの種類	
9	第1章	演習問題	
10	第3章	プロセッサ〜実効アドレス	
11	第3章	アドレス指定方式〜プログラム記憶方式	
12	第3章	プロセッサ内のレジスタと機器〜演算命令の実行順序	
13	第3章	MIPSと平均命令実行時間	
14	第3章	CPUのクロック周波数	
15	第3章	CPUの基本動作時間	
16	第3章	命令ミックスの計算	
17	第3章	プロセッサの高速化技術	
18	第3章	論理素子	
19	第3章	論理和	
20	第3章	論理積	
21	第3章	否定~否定論理積	
22	第3章	排他的論理和と等価演算	
23	第3章	論理演算における式の変形~ド・モルガンの定理	
24	第3章	マスクビット	
25	第3章	半加算器	
26	第3章	全加算器	
27	第3章	半導体メモリ〜半導体チップ	
28	第3章	キャシュメモリ	
29	第3章	メモリインタリーブ〜記憶階層	
30	.,	入力装置〜ディスプレイ(表示装置)	
31		プリンタ〜入出力インタフェース	
32	第3章	演習問題	

		授業内容	備	考
33	第6章	システムの利用形態と適用領域〜システム構成		
34	第6章	クライアントサーバシステム〜バックアップサイト		
35	第6章	RAID		
36	第6章	フォールトトレラントシステム〜Webシステム		
37	第6章	システムの性能特性と評価~RASIS		
38	第6章	RASの評価尺度		
39	第6章	2台の機器から構成されるシステムの稼働率		
40	第6章	3台の機器から構成されるシステムの稼働率		
41	第6章	バスタブ曲線〜オンラインシステムの性能計算		
42	第6章	磁気ディスク装置の平均アクセス時間の計算		
43	第6章	磁気ディスク装置の容量計算		
44	第6章	演習問題		
45	第7章	マルチメディア技術		
46	第7章	マルチメディア応用		
47	第7章	演習問題		
48	第9章	データベース方式		
49	第9章	関係データベースの操作		
50	第9章	SELECT文の基本文法		
51	第9章	SELECT文(条件指定)		
52	第9章	SELECT文(複数条件)		
53	第9章	SELECT文(LIKE)		
54	第9章	SELECT文(BETWEEN)		
55	第9章	SELECT文(DISTINCT)		
56	第9章	集約関数		
57	第9章	GROUP BY		
58	第9章	ORDER BY		
59	第9章	副問合わせ		
60	第9章	共有ロックと占有ロック~トランザクション処理の終了		
61	第9章	2相コミットメント~ACID特性		
62	第9章	正規化		
63	第9章	データウェアハウス〜シソーラス		
64	第9章	演習問題		